

# 絆

151 号



自由民主党

前衆議院議員

## 桜田よしたか



### 日本！この国を強い国に！ ～国・地域・家族を守る～

#### 衆院選制度改革 党利党略・私利私欲 民主党政権

#### 違憲状態を解消し、総選挙の環境を整えよ！

立法府は憲法違反を放置したまま。政府は党利党略から見て見ぬふり…どこか遠い開発途上国の話ではありません。日本の国会が議会制民主主義国家として恥ずかしい状態におちいったままなのです。きっかけは昨年3月の最高裁判決。2009年衆院選で千葉4区の有権数が高知3区の2.30倍だったことを「違憲状態だった」と断じ、格差是正を迫りました。投票は国民に平等に与えられた権利なのに、千葉4区の1票の重みは高知3区に比べて軽すぎるというわけです。これを受けて昨年10月、国会で格差是正のため与野党協議がスタートしました。それから8か月。格差を2倍未満に縮めようという基本認識では一致していますが、選挙制度をどう変え、選挙区をどう手直しか、具体策になると話がまとまりません。

#### ●政権の座に恋々、議席維持に汲々選挙が怖い？民主党

衆院選挙制度改革に関する各党協議会で、自民党は「0増5減」案を一貫して主張してきました。山梨や高知、佐賀など5県の小選挙区を1つずつ減らして1票の格差を縮めようという提案です。この提案に民主党は表面的には賛成していますが、本気度となると??を付けざるをえません。手を変え品を変え、まとまる見込みのない是正案を提示してくるからです。例えば次のような案です。

- ①衆院定数を80削減
- ②小選挙区は「0増5減」
- ③比例定数は75減の105とし、うち35議席を「連用制」に改める
- ④比例選の11ブロックを統合し、全国単位とする。何とも難解な案です。

こんな複雑な選挙制度が有権者に受け入れられるはずありません。連用制は特定の政党に有利にはたらくので、私は導入に反対です。単純明快な「0増5減」なら簡単なのに、話をぶち壊すような提案をぶつけてくるのはなぜでしょう。早期の総選挙は不利だから、わざと違憲状態を放置し、解散しにくい状況を作っているのではないか——私はそう思います。

#### ●「0増5減」でまず格差是正、次いで抜本改革

いま総選挙をしたら民主党は大幅に議席を減らすでしょう。民主党内閣への失望感から有権者の厳しい審判が下り、政権の座から転がり落ちる可能性大です。だからといって、最高裁が指摘した違憲状態を放置しておくことは許されません。国民の参政権の柱、投票の機会を狭めることにもつながるからです。このままでは政治の責任放棄、国会の怠慢

《「1票の格差」の大きい選挙区》  
(2010年国勢調査を基に作成)

| 順位  | 選挙区   | 1票の格差(倍) | 人口(万人) |
|-----|-------|----------|--------|
| 1   | 千葉4区  | 2.254    | 60.9   |
| 2   | 神奈10区 | 2.510    | 60.5   |
| 3   | 東京6区  | 2.448    | 59.0   |
| 4   | 東京16区 | 2.417    | 58.3   |
| 5   | 東京24区 | 2.404    | 58.0   |
| ... | ...   | ...      | ...    |
| 300 | 高知3区  | 1.000    | 24.1   |

と批判されても反論できません。〈一寸先は闇〉といわれる政治の世界。いつ解散・総選挙があるか予測できません。現状のままで衆院選を行えば、1票の格差訴訟で再び「違憲判決」が出るのは確実です。さらに踏み込んで「選挙無効」の司法判断が示されるかもしれません。

万一、選挙無効の判決が出たらどうすればいいのでしょうか。再選挙の規定はありません。当選無効とされた議員が新しい法律を作るのか、参議院が衆議院の選挙制度を作るのか——議会制度の根幹にかかわる矛盾が次々に現れ、大混乱に陥るのは必至です。

では、どうすればいいか。私は「1票の格差」是正と選挙制度の抜本改革は切り離して処理すべきだと考えています。「0増5減」の格差是正でまず違憲状態を解消し、定数削減などはじっくり腰を据えて取り組む。この方法が現状ではベストの選択です。国民の信をいつでも問えるよう、制度を整備しておく——これこそ民主主義の基本であり、政治の王道ではないでしょうか。

## 中国スパイ疑惑

## “スパイ天国日本” 忍びよる魔の手

### 政権中枢にも浸透？ スパイ防止法でガードを！

日本の公安警察と外国諜報機関の暗闘を描いた映画『外事警察』が公開されていますが、そんな折、在日中国大使館の1等書記官のスパイ疑惑が明るみに出ました。警視庁はウィーン条約が禁止する商業活動をしていた疑いで出頭要請しましたが、書記官は中国に帰国。このため、外交官身分を隠して外国人登録証明書を取得したとして、外国人登録法違反（虚偽申告）容疑などで書類送検しました。しかし、事件の闇は深く、政官界、経済界に飛び火する可能性があります。

〈ウィーン条約〉身柄が拘束されないなど外交官特権について定めた条約。42条は赴任先で個人的な利得を目的とした職業活動や商業活動を禁止している。日本は1964年、中国は75年に加入。

#### ●外交官、実は人民解放軍情報機関の一員

スパイ活動をしていたとみられるのは中国大使館の李春光1等書記官(45)。人民解放軍傘下の外国語学校を卒業後、軍の情報機関「総参謀部第2部」に所属し、07年7月に経済担当の書記官として日本に赴任しました。これまでの調べで、書記官は農産物の中国輸出をめぐる鹿野道彦農相（肩書は当時）や筒井信隆農水副大臣（同）と接触したのをはじめ、防衛関連企業の社員や先端技術研究団体の職員らを中国大使館に招いたことが分かっています。

警視庁は書記官が在任中に接触した関係者の事情聴取を進め、工作活動の全容解明を目指しています。

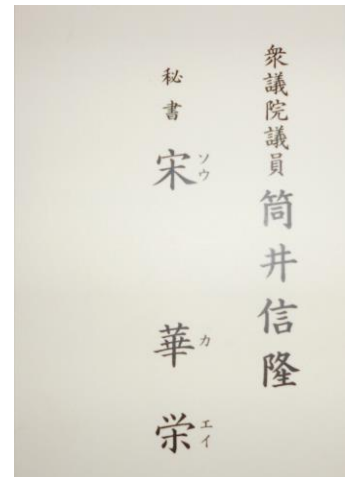
自民党は民主党政権内部から情報漏えいがあったかなどを国会で追及する一方、問題調査のため平沢勝栄副幹事長らを北京に派遣しました。焦点は、わが国の機密情報が中国側に漏れたかどうかです。



平成24年2月9日衆議院本会議にて民主党の不正疑惑を追及する桜田の盟友、稲田朋美議員。



稲田議員の徹底追求に、しどろもどろで大慌ての鹿野議員の様子。この時点では大手マスコミは全く報道しませんでした。



筒井農水副大臣には中国人の女性秘書！？疑惑は深まるばかり。

農産物の対中輸出促進事業は筒井副大臣が主導、事務は一般社団法人「農林水産物等中国輸出促進協議会」代表が担当していました。この人物は鹿野農相グループに所属する樋口俊一衆議院議員の公設秘書でしたが、協議会発足と同時に代表に就任しました。農水省の機密文書が協議会代表の手に渡ったことまでは確認されており、「李書記官が代表から文書を見せてもらったり、内容を教えてもらったりした」という証言もあります。眼で見たか耳で聞いたか、機密性の高い文書の中身が中国側に渡ったのは確かでしょう。農水省は調査チームを発足させ、鹿野農相はじめ関係者から事情を聴き、情報流出の経路や有無を調べています。しかし、身内による調査でどこまで真相に迫れるか、疑問のあるところです。



平成 24 年 2 月 8 日、桜田がキャスターを務める千葉 TV の番組取材時でも、稲田議員と民主党の疑惑について情報交換。

## ●スパイ防止法、秘密保全法制定論議をもう一度

スパイ天国といわれる日本。ロシアや中国、北朝鮮の工作員が潜入し、入り乱れての情報諜報が繰り返されています。ところが、わが国にはスパイを直接取り締まる法律がありません。今回の事件でも警察は李書記官を入国直後からマークしていましたが、機密情報のやり取りまでは裏付けられず、いわば形式犯の外国人登録法違反での立件ことどまっています。中国の覇権政策で緊張が高まるアジア・太平洋地域。こうした中で重要情報が漏れれば、国益を害するだけでなく周辺国にも迷惑をおよぼします。「日本は情報管理の脇が甘い」となれば、以後、デリケートな軍事情報などは入ってきません。今回の事件で、私はスパイ防止法の必要性を痛感しました。情報を漏えいした公務員を厳しく罰する秘密保全法も必要でしょう。自民党は 1985 年、中曽根内閣時代に議員立法としてスパイ防止法を提出しましたが、野党の猛反発で廃案になった経緯があります。

今回の事件を教訓として与野党の一部、外務省、警察庁で機密保全の法整備論議が再浮上しました。ところが、野田内閣お消費税で手一杯。やる気はないようです。スパイ防止法がないのは、玄関先に「お好きにどうぞ」という看板を掲げているようなもの——いつになったら、この現実気がつくのでしょうか。

## 自助が基本、共助で補完、最後に公助

### 生活保護 受給者急増 210 万人に、不正受給も最悪

経済・雇用情勢の悪化を背景に生活保護の受給者が急増しています。生活保護を受けている人の数は過去最高を更新し続け、今や 210 万人に迫る勢いです。給付総額は今年度予算ベースで 3 兆 7000 億円。この 5 年間で 1 兆円も膨らみ、財政を圧迫しています。

問題なのは働き盛り世代の受給者が増えていること。雇用保険に未加入の非正規労働者が、失業で一気に生活保護に転がり落ちていくケースが目につきます。ふたたび収入の多い仕事に就くのは難しく、這い上がるのは容易ではありません。まさに阿鼻地獄です。セーフティーネットが十分でないため、こうした矛盾は孤独死・自殺・貧困・無縁社会といった形で噴出し、社会の活力を奪っていきます。早いうちに手を打たねばなりません。生活保護法の改正が検討されていますが、現行制度では働いて収入を得ると、その分、生活保護費がカットされます。働いても働かなくても手に入るお金はほとんど同じ。これでは生活保護から抜け出そうという意欲はわいてきません。

働く意欲のある人の自立を後押しする制度改革が必要です。たとえば「就労収入積立制度」。働いて得た収入の一定割合を将来のために積み立て、生活保護から脱した時にまとめて受け取る仕組みです。

検討段階のようですが、試験的にでも実施してはどうでしょうか。税金をジャブジャブ振りまく民主党型のバラマキ施策は、とっくに限界にきています。これからの社会保障は自助が基本、その上で共に助け合い、公助（公費負担）を組み合わせる——そうしないと少子高齢化時代を乗り切れません。

生活保護受給者の急増とともに不正受給件数も過去最悪を更新しました。厚労省の発表によりますと、2010年度の不正受給は全国で2万5355件、金額は128億7400万円に達しました。

このうち収入があるのに申告しないケースが最も多く、年金を申告しないケースがこれに続きました。偽名で複数の自治体から二重取りした悪質な事例もありました。預金口座のチェックなど資産調査の強化が欠かせません。給付総額を抑えるためにも不正防止を徹底すべきです。問題なのは生活保護費の半分以上を占める医療給付です。生活保護受給者の医療費自己負担はゼロ。このため、必要以上の診察を受ける受給者が見受けられます。また、受給者ばかりを集め診療報酬を荒稼ぎする医療機関も存在します。生活保護事業費も私たちの税金。財布の中身は限られているわけですから、必要などころに必要なお金が回るよう、きめ細かい制度設計が求められます。

## 「決められない政治」とサヨナラをー

野田首相が内閣改造に踏み切りました。参議院で問責決議を受けた田中防衛相、前田国土交通相をようやく交代させましたが、遅すぎます。この1か月、国会は「開店休業」状態でした。政府が今国会に提出した81法案のうち成立したのはわずか20本。成立率は約25%。プロ野球だったらダントツの最下位、監督の首が飛び不成績です。「内閣改造カード」を切った野田首相は、消費税引き上げ関連法案の成立に向け、自民党との修正協議に入る腹づもりのようですが、ハードルがまだ残っています。消費税増税に反対する小沢元代表と決別しない限り協議は前に進まないでしょう。「小沢切り」をいつ決断するのか。会期の延長が無ければ、会期末は今月21日です。

## 桜田義孝支援者の会のお知らせ～どなたでもご参加いただけます！～

混迷する政局をにらみ、桜田支援者の会を下記の日程にて開催致します。

どちらかの日程にご参加ください！

【日付】平成24年6月19日(火):主として地区(町会単位)支援者を対象

平成24年6月26日(火):主として支援団体の支援者を対象

【時間】受付18:00 開会19:00 夕食19:30～20:30の予定

【場所】マリアチャペル・マリベール柏(旧玉姫殿) 柏市柏233 04-7163-1111

※柏駅東口ダブルデッキ下から、10分間隔程度で随時シャトルバスを運行致します。

【費用】3,000円(飲食費実費)【内容】政権奪還!自民党の政策と決意

【お問い合わせ先】高柳・野口・上野(桜田事務所)

★桜田義孝千葉テレビ既放送分について、動画サイト YOUTUBEにてご覧いただけます！

桜田義孝がメインキャスターの情報番組「サタデー千葉プロジェクト」※既放送回について、順次 YOUTUBE に UP していきます！乞うご期待！

## 党員募集のお知らせ

【入党手続き】桜田事務所までご連絡ください

【自民党員になると】2年間継続した党員は、自民党総裁選挙の有権者となります。また桜田義孝事務所より活動報告や行事案内をお送り致します。

【党員種類】一般党員 年間 4,000 円 家族党員 年間 2,000 円

桜田義孝事務所

〒277-0814 柏市正連寺 374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス [web@sakurada-yoshitaka.com](mailto:web@sakurada-yoshitaka.com)

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>

